

別添1【愛別町通学路合同点検箇所一覧表】

番号	路線名	箇所・住所	通学路の状況・危険の内容	対策内容	事業主体	対策年度
1	学校道路	本町 (住友商店付近)	道幅が狭く、歩道もない。車両も通行することが多く、危険な状況である。また、冬は見通しも悪く危険。	①登下校時における児童生徒への交通安全指導（現場での街頭指導） ②時間帯による交通規制の導入	①教育委員会 (学校・PTA) ②愛別町	H30～
2	北町6線道路	北町 (愛別小学校付近)	道幅が広く歩道もあるが、小学校付近からカーブと下り坂になり、車のスピードも上がる。冬は道幅が狭くなり、交差点付近に雪が高く積もるため見通しが悪く危険。	①登下校時における児童生徒への交通安全指導（現場での街頭指導） ②パトロール巡回による事故等の未然防止 ③道路状況を把握し状態が悪くなった段階で道路管理者へ対応を依頼	①教育委員会 (学校・PTA) ②警察 ③愛別町（道路管理者）	R4～
3	南小路 学園道路	Da・marche裏 駐車場付近	買い物客の車両の出入りが多く、危険。	①児童への交通安全指導（学校での口頭又は文書での指導） ②通学路の変更 ③道路と駐車場の区分を明確にするため、コーン等を設置。	①教育委員会（学校） ②教育委員会（学校） ③愛別町・土地管理者	H30～
4	本町5線 南大路線	あいねっと先交差点	信号機のない交差点で、交通量も多く危険。	①児童への交通安全指導（学校での口頭又は文書での指導） ②堆雪等、道路状況を把握し状態が悪くなった段階で道路管理者として対応する	①教育委員会（学校） ②愛別町（道路管理者）	H30～
5	道道140号線 (愛別当麻旭川線)	愛別橋先交差点 (かえで公園前)	高速道路出入り口にアクセスする道路であることから、普通車のみならず大型車の交通量も多い、また、高速道路を下りた車の速度超過も見受けられる。	①登下校時における児童生徒への交通安全指導（現場での街頭指導）	①教育委員会（学校）	H30～
6	国道39号線 道道140号線 (愛別当麻旭川線)	野口商店前交差点	幹線道路であり、交通量が多い。	①登下校時における児童生徒への交通安全指導（現場での街頭指導）	①教育委員会(学校) 愛別町 (交通安全推進協議会)	H30～
7	道道101号線	本町通り	信号なしの横断歩道もあり、交差点付近には雪が高く積もっており見通しが悪い。また、歩道沿いにある建物からの落雪の危険性がある。	①登下校時における児童生徒への交通安全指導（現場での街頭指導） ②道路状況を把握し状態が悪くなった段階で道路管理者へ対応を依頼 ③道路に隣接する住宅等の所有者へ対応を依頼する	①教育委員会（学校） ②北海道（道路管理者） ③愛別町・教育委員会	H30～
8	道道140号線	愛別橋	冬は道幅が狭くなり、交差点付近も雪が高く積もっており見通しが悪い。また、愛別橋は、歩道に雪が積もり欄干が低く感じる。中学校に通学するために必ず通らなければならない唯一の橋であり、車両の交通量も多いため、登下校時（特に登校時）の歩道の除雪について配慮が必要。	①道路状況を把握し状態が悪くなった段階で道路管理者へ対応を依頼・歩道の除雪についてより良い方策の検討	①愛別町 北海道（道路管理者）	H30～